



感染性胃腸炎の予防と対策

冬は、インフルエンザをはじめとする呼吸器感染症のほか、ノロウイルスやロタウイルスによる感染性胃腸炎が流行します。

<ノロウイルスの特徴>

流行は晩秋から増加し、年明けに山場を越すことが多い。糞便のほか、食品や水、唾液や嘔吐物を介して伝播する。1～2日の潜伏期間ののち、突然の嘔吐、下痢、腹痛などを主症状とする急性胃腸炎を起こす。

<ロタウイルスの特徴>

流行期は3～4月をピークとし、生後6～18ヶ月に多い。糞便で伝播する。潜伏期間は1～3日で、主症状は嘔吐、下痢、発熱。便は白色のことが多く、水様性の下痢症になる。

これらの感染症を予防するためには、マスクの着用、手洗い、うがいを励行しますが、必要に応じ消毒薬を使用し、手指や物品、生活環境を消毒します。

<消毒薬>

糞便・嘔吐物中のウイルスを完全に失活させるには、次亜塩素酸ナトリウムを使用します。市販では家庭用塩素系漂白剤の「キッチンハイター」や「ブリーチ」などがあります。

ノロウイルスやロタウイルスは消毒薬に対する抵抗性があるので、アルコールによる消毒では、十分な効果が得られません。

● 家庭用消毒薬の作り方

用意する物 ①「家庭用塩素系漂白剤」(原液に含まれる次亜塩素酸ナトリウムの濃度約5%)

② 良く洗ったペットボトル

濃度	希釈方法	用途
0.02%	原液10mL(ペットボトルのキャップ2杯分)を2Lの水で希釈	トイレのドアノブや手すりなど、日常の消毒に使用
0.1%	原液10mL(ペットボトルのキャップ2杯分)を500mLの水で希釈	嘔吐物・糞便が付着した場合の消毒に使用

<注意事項>

・**作ったペットボトルは誤って飲まないように注意して下さい。「消毒液」と分かるように書きましょう。**

・他の洗剤と混ぜると有毒ガスが発生することがあり、危険です。

・作り置きをせず、使う分だけ作りましょう。作った消毒液は高温な場所に置かないでください。

・皮膚への刺激が強いため手洗いには使用できません。手指の消毒は、石鹸と流水による手洗いで十分です。

参考文献: ファーマトリビューン 2013/11、クレデンシャル 2013/No.62、ENIF2013Vol.22

どこの病院・診療所の処方せんにも対応できます。

(お薬によっては時間がかかることがあります)

薬・健康食品・サプリメント等についてのご相談を受け付けています。

あすなる武川薬局 TEL 0551-26-3800 FAX 0551-26-3810

